

2023年5月12日

第74期(2023年3月期)  
決算説明資料



スタンダード 9367

# 当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様

## 大東港運グループ

国内

 **大東港運株式会社**

(創業 1957年12月)  
輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・不動産賃貸 等

海外

連結子会社

**大東運輸倉庫(株)**  
陸上運送・倉庫・  
不動産賃貸

**丸田運輸倉庫(株)**  
海上コンテナ運送  
トラック運送

**大東港運(江陰)  
儲運有限公司**  
倉庫

中国

**ダイトウ物流(株)**  
海上コンテナ運送  
トラック運送

**FDロジスティクス(株)**  
海上コンテナ運送

**Ever Glory Logistics Pte.Ltd.**  
運送・倉庫・  
フレイトフォワーディング

シンガポール

HACCP



**有限会社水文**  
白えびの  
買付・加工・卸売

**(株)眞榮ロジ**  
海上コンテナ運送

**ダイトウ保険センター(株)**  
損害保険代理店  
※非連結子会社

**DB CORPORATION**  
エージェント業務(貨物・船)  
※持分法適用関連会社

韓国

2022年11月15日付で、持分法適用関連会社であった(株)眞榮ロジの株式を追加取得し当第3四半期より連結子会社としております。  
2023年4月1日付で、連結子会社ダイトウ物流(株)を当社を存続会社として吸収合併しております。

## 2023年3月期の環境

政策金利上昇圧力が強まる一方、新型コロナウイルスの影響が和らぐ中で経済活動の再開が一段と進んだ



・ 景気回復基調維持



・ ゼロコロナ政策により経済活動抑制



・ 個人消費を中心に持ち直し

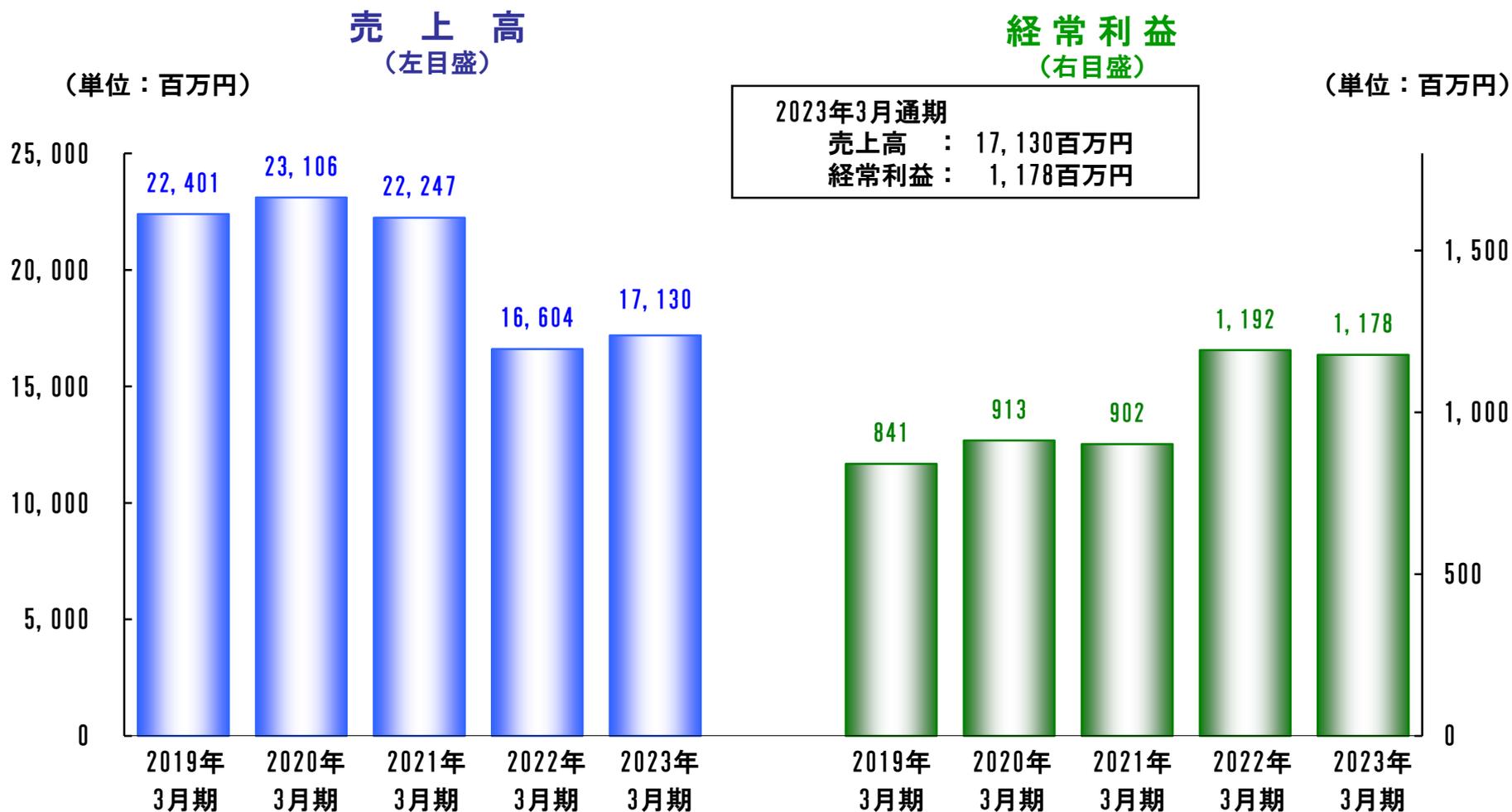


・ 景気回復基調維持



輸入及び輸出：米国・欧州・アジアともに増加

# 連結業績の推移



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

# セグメント別売上高

## 輸出入貨物取扱事業

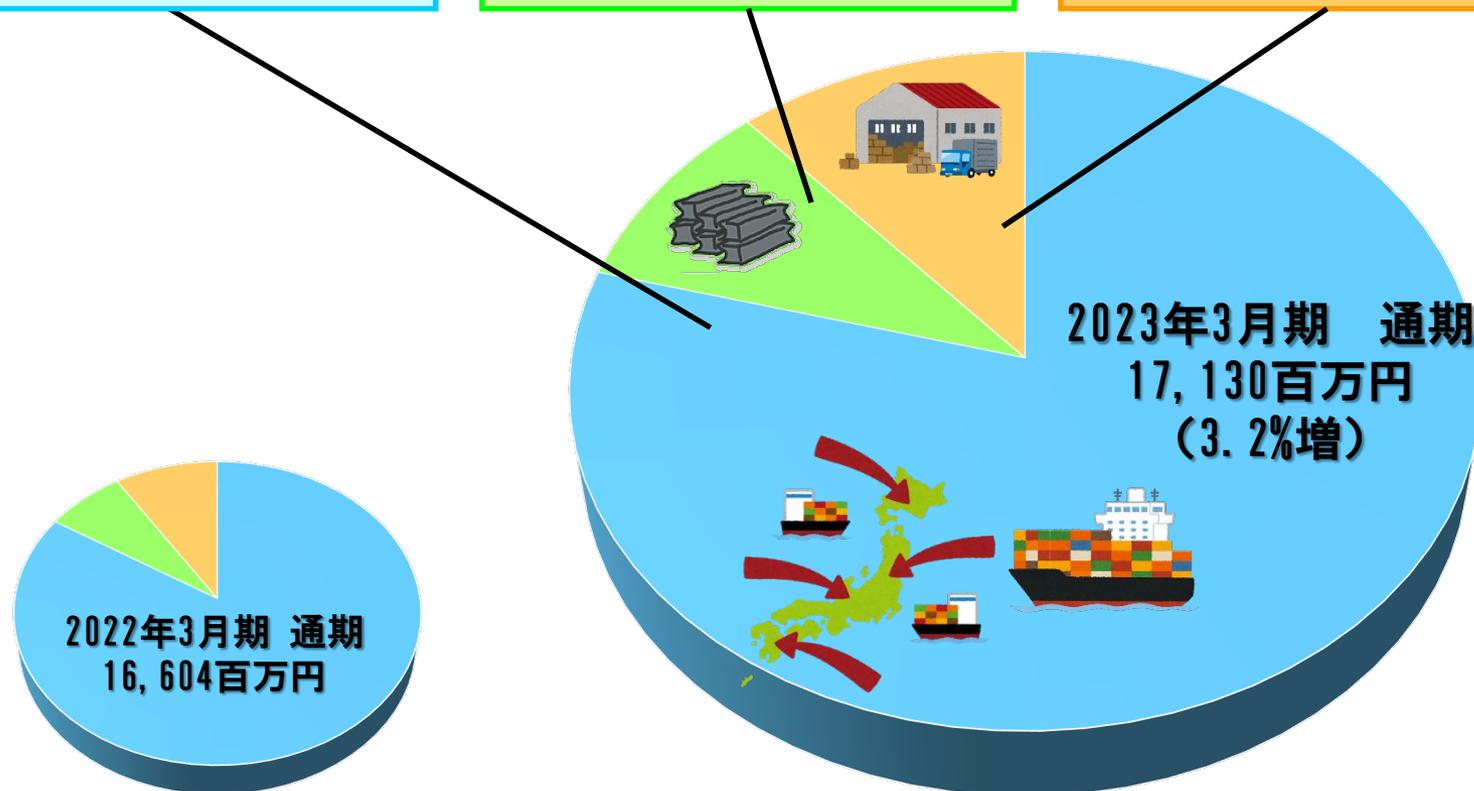
売上高：13,119百万円  
前年同期間比：▲15百万円  
(0.1%減)

## 鉄鋼物流事業

売上高：1,799百万円  
前年同期間比：+112百万円  
(6.7%増)

## その他事業

売上高：2,211百万円  
前年同期間比：+428百万円  
(24.1%増)



# 業務別・取扱品目別連結売上高

## 連結業績

売上高：17,130百万円 前年同期間比：+526百万円（3.2%増）

### 輸出入貨物取扱事業

売上高：13,119百万円  
前年同期間比：▲15百万円  
（0.1%減）

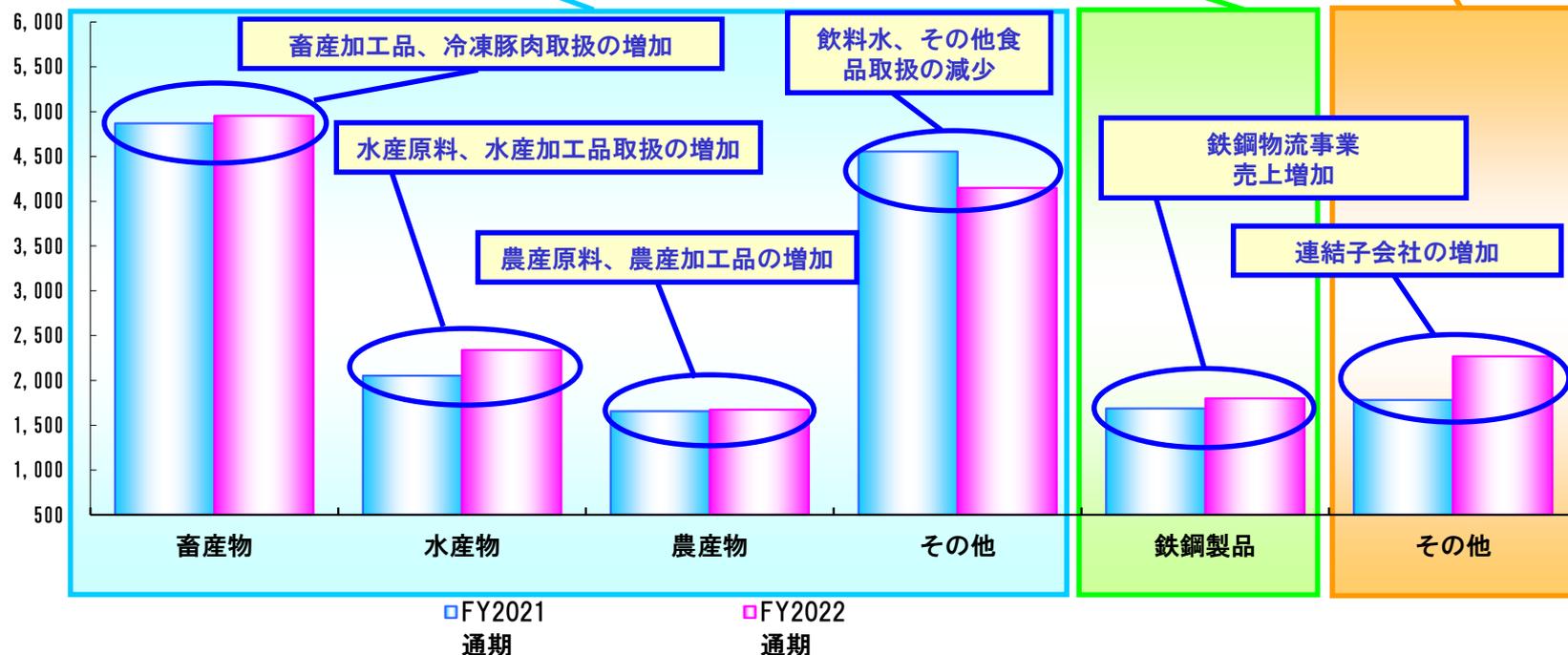
### 鉄鋼物流事業

売上高：1,799百万円  
前年同期間比：+112百万円  
（6.7%増）

### その他事業

売上高：2,211百万円  
前年同期間比：+428百万円  
（24.1%増）

（単位：百万円）



# 連結業績の総括

## 連結業績の総括

売上高は、「輸出入その他」の取扱が減少したものの、「畜産物」「水産物」「農産物」「鉄鋼物流」「その他」の取扱が増加したため増収となった。営業利益は、「輸出入その他」の売上減少、販売管理費の増加により減益。経常利益は受取配当金・受取保険金の計上があったものの減益。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記に加え前年に投資有価証券売却益の計上があったため減益となった。

(単位：百万円)

		2022年 3月期 通期	2023年 3月期 通期	増減	%	主な要因	
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	4,870	4,955	+85	+1.7	畜産加工品・冷凍豚肉取扱の増加
		水産物	2,053	2,339	+285	+13.9	水産原料・水産加工品取扱の増加
		農産物	1,656	1,674	+18	+1.1	農産原料・農産加工品取扱の増加
		その他	4,554	4,150	▲404	▲8.9	飲料水、その他食品取扱の減少
		計	13,134	13,119	▲15	▲0.1	
	鉄鋼物流	1,686	1,799	+112	+6.7	鉄鋼物流事業売上増加	
	その他	1,782	2,211	+428	+24.1	連結子会社の増加により売上増加	
	合計	16,604	17,130	+526	+3.2		
営業利益		1,073	1,038	▲34	▲3.2	輸出入その他の売上減少、販売管理費増加により減益	
経常利益		1,192	1,178	▲13	▲1.1	受取配当金・受取保険金の計上があったものの減益	
親会社株主に帰属する 当期純利益		832	783	▲49	▲5.9	上記に加え前年に投資有価証券売却益の計上があったため減益	

# 四半期連結業績の推移（累計）

（単位：百万円）

		2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				
		1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	2,125	3,975	6,036	7,879	1,257	2,456	3,703	4,870	1,359	2,633	3,838	4,955
		水産物	779	1,494	2,344	3,021	490	1,017	1,589	2,053	564	1,211	1,829	2,339
		農産物	780	1,489	2,271	2,990	426	838	1,261	1,656	443	857	1,305	1,674
		その他	1,224	2,578	3,965	5,213	1,058	2,283	3,558	4,554	1,074	2,157	3,241	4,150
		計	4,909	9,538	14,617	19,103	3,232	6,596	10,112	13,134	3,442	6,861	10,215	13,119
	鉄鋼物流	271	560	961	1,376	428	842	1,279	1,686	407	828	1,316	1,799	
	その他	439	845	1,280	1,766	433	866	1,328	1,782	497	1,028	1,628	2,211	
	合計	5,620	10,943	16,860	22,247	4,094	8,305	12,720	16,604	4,346	8,718	13,160	17,130	
営業利益		200	317	621	782	262	553	922	1,073	315	589	898	1,038	
経常利益		237	380	717	902	287	587	1,002	1,192	344	635	1,045	1,178	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益		160	226	452	580	191	430	709	832	231	427	702	783	

# 連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2022年 3月期 期末	2023年 3月期 期末	増減	主な要因
資 産	流動資産	7,309	7,866	+557	現金及び預金 +307 棚卸資産 +142
	固定資産	5,968	6,254	+285	建物及び構築物(純額) ▲58 リース資産 +116 投資有価証券 +256 保険積立金 ▲43
	合計	13,277	14,120	+843	
負 債	流動負債	3,477	3,410	▲66	営業未払金 ▲68 リース債務(流動) +73 流動負債/その他(主に未払金) ▲70
	固定負債	2,061	2,122	+60	リース債務(固定) +151 長期借入金 ▲33 退職給付に係る負債 ▲54
	合計	5,538	5,533	▲5	
純資産		7,738	8,587	+849	利益剰余金 +637

※自己資本比率59.6% (非支配株主持分を除いて計算)

# 四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	6,014	6,370	6,642	6,457	6,307	7,230	7,442	7,309	7,131	7,871	8,240	7,866
	固定資産	5,730	5,811	5,694	5,837	5,729	5,842	5,777	5,968	5,862	6,147	5,965	6,254
	合 計	11,745	12,181	12,336	12,295	12,036	13,072	13,220	13,277	12,993	14,019	14,205	14,120
負 債	流動負債	3,295	3,275	3,297	3,250	3,047	3,458	3,456	3,477	3,212	3,598	3,444	3,410
	固定負債	2,213	2,576	2,441	2,123	1,982	2,346	2,225	2,061	1,944	2,334	2,332	2,122
	合 計	5,509	5,852	5,739	5,374	5,029	5,805	5,682	5,538	5,156	5,933	5,777	5,533
純 資 産		6,235	6,328	6,597	6,921	7,007	7,267	7,538	7,738	7,836	8,086	8,427	8,587

# 連結キャッシュ・フローの総括

(単位：百万円)

	2022年 3月期 通期	2023年 3月期 通期	キャッシュ・フローのポイント (2023年3月期 期末)
営業活動による キャッシュ・フロー	825	796	税金等調整前当期純利益 +1,176 減価償却費 +274 棚卸資産の増加額 ▲142 法人税等の支払額 ▲412
投資活動による キャッシュ・フロー	▲149	▲287	投資有価証券の取得による支出 ▲246 有形固定資産の取得による支出 ▲125
財務活動による キャッシュ・フロー	▲200	▲249	リース債務の返済による支出 ▲73 配当金の支払額 ▲146
現金及び現金同等物に 係る換算差額	8	16	
現金及び現金同等物の 増減額	483	276	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,634	2,910	

# Be Sustainable ~サステナブルを目指して~

基本理念・『「ありがとう」にありがとう』のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく、第8次中期経営計画2023-2025を実行します。

100年企業  
に向かって

2017

## 第6次中期経営計画

### Diversification 変化による進化

- ・ 営業力強化
- ・ 生産性向上
- ・ 事業拡大

2020

## 第7次中期経営計画

### Develop inherent value 独自の価値創造

- ・ コア事業の拡大と基盤強化
- ・ 物流インフラ事業の拡充
- ・ 人材育成の高度化
- ・ グループ全体成長

2023

## 第8次中期経営計画

### Be Sustainable サステナブルを目指して

- ・ 持続的価値の拡大
- ・ 営業組織力・人材力・IT力の強化
- ・ 環境課題・社会課題に配慮した事業推進
- ・ グループの成長と発展

# 骨子

当社グループを取巻く環境が急速に変化し、価値観が多様化していく中で、成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による持続的成長を実現するため、以下の4骨子から成る中期経営計画を策定しました。

I	持続的価値の拡大	コア事業の更なる拡大と新たな成長へ向けた派生事業領域への挑戦
II	営業組織力・人財力・IT力の強化	営業力向上による付加価値提供力の強化、人・ITの連携による生産性の向上
III	環境課題・社会課題に配慮した事業推進	事業を通じた環境課題と地域社会への貢献
IV	グループの成長と発展	グループ各社の業容拡大とシナジー強化

# 通期の連結業績予想について

## 2024年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

	2023年 3月期 通期	2024年 3月期 通期予想	増減	説 明
売上高	17,130	18,000	+869	<p>当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく「Be Sustainable ~サステナブルを目指して~」を経営ビジョンに掲げた第8次中期経営計画を策定いたしました。</p> <p>この2023年4月からを初年度とする3年間の指針とともに当社グループがワンチームとなって、確実に歩んでまいります。</p>
営業利益	1,038	1,100	+61	
経常利益	1,178	1,200	+21	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	783	850	+66	

# 配当金について

## 一株当たり配当金・配当性向（連結）

当社は、株主の皆様への長期的な利益還元を重要な課題であると認識し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

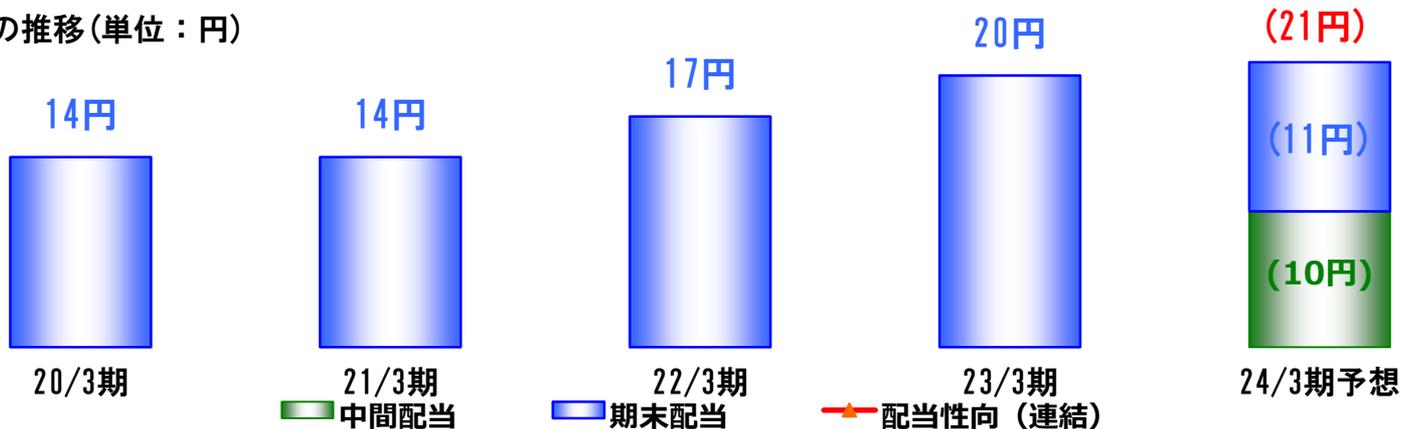
配当については、中長期的視点での企業価値向上のために必要な事業投資を継続したうえで、1株当たり年額20円を下限とし、各事業年度の収益力向上を考慮しつつ、配当性向20～30%を目安として、中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針といたします。

**24年3月期から配当を年1回→年2回に変更**

配当性向（単位：％）



配当金の推移（単位：円）



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

### 本資料に関するお問合せ先

## 大東港運株式会社

総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : [soumu@daito-koun.co.jp](mailto:soumu@daito-koun.co.jp)

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>